

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホテルルートイングランド秩父	階数	地上7F
建設地	埼玉県秩父市	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	220 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2021年11月1日
敷地面積	8,366 m ²	作成者	
建築面積	2,198 m ²	確認日	2021年11月10日
延床面積	6,961 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 76%
④上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.9

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	外構緑化を実施し、良好な環境形成に努めている。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
喫煙室及び喫煙ルームを設け、非喫煙者が煙に曝されないよう対策を実施している。	給水管(VLP)・排水管(VP)・汚水管(VP)→Bで、耐用年数の長い管材を採用している。非常用発電設備を設置している。電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている。	植栽により、良好な景観を形成している。防犯カメラを設置し、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率の空調設備や照明設備を採用している。	LGS下地材を採用している。	適切な量の駐車スペースの確保をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)ホテルルートイングランド秩父

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.2
Q1 室内環境							0.40		-	2.4
1 音環境						2.6	0.15	2.5	1.00	2.5
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						3.0	0.40	1.8	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	2.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						2.3	0.35	2.1	1.00	2.2
2.1 室温制御						2.5	0.50	2.1	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						1.0	0.25	1.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						2.0	0.25	2.3	1.00	2.2
3.1 昼光利用						1.8	0.30	1.8	0.30	
1 昼光率						1.0	0.60	1.0	0.60	
2 方位別開口							-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						1.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御						1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						2.7	0.25	2.7	1.00	2.7
4.1 発生源対策						3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気						2.0	0.30	2.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理						3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-		-	
2 喫煙の制御						3.0	1.00		-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.3
1 機能性						2.2	0.40	1.6	1.00	1.8
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	2.0	0.60	
1 広さ・収納性						3.0	-	1.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応						1.0	-	3.0	0.50	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	1.0	0.40	
1 広さ感・景観						3.0	-	1.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-		-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						2.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		2種類以上でB以上を使用している。				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.2	0.20		-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						1.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			2.2	0.30	2.4	1.00	2.3
3.1 空間のゆとり			-	-	1.8	0.50	
1 階高のゆとり			3.0	-	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.2	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			1.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			1.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			1.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.77		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEI _m] = 0.71		4.8	0.50	-	-	4.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。		4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出量=76%		3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)ホテルルートイングランド移	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	-------------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.9	+	2.0	=	5.9 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
<配慮した内容を記述> LCCO2排出量=76%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 植栽により、敷地内暑熱環境を緩和する。			

:入力欄